

# 令和8年度学校経営計画

秩父市立西小学校

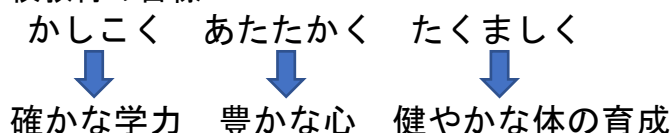
## 1 基本理念

### 安全・安心で元気あふれる西小学校

少子高齢化、グローバル化、AI化が進むとともに、予測困難な社会の中で、自立した人間として力強く生きぬくためには、自らの力で人生を切り拓く力が必要である。そこで、家庭・地域と連携し、人間力を養うため、児童一人一人を大切にし、将来の夢と志を育み、地域の一員として貢献するとともに、社会で活躍する礎を築く必要がある。

そのため、チームとしての学校力を高め、児童の生活の基盤である学校・家庭での安全・安心が保障され、誰にとっても居心地がよく、安らぎがあり活気あふれる学校づくりを行う。

## 2 学校教育の目標



## 3 めざす児童像

### 夢と志をもち、地域に貢献できる児童

- 時を守り、場を清め、礼を正す子
- 自分も他の人も大切にする子
- 自分で考え自分で判断し、進んで行動する子
- 自己のよさや可能性を伸ばす子
- 集団の一員としてよりよい人間関係を築ける子
- 郷土を愛し、地域に貢献する子

## 4 めざす学校像

### 安らぎがあり活気あふれる学校

- 児童が自信と希望をもち、いきいきと活動する学校
- 児童が確かな学力を身に付けられる学校
- 礼儀正しく、温かなふれあいと「居がい」のある学校
- 保護者、地域に信頼され、誇りとされる学校
- 人と人とのつながりに潤いがあり、児童が安全に安心して学べる学校

## 5 めざす教師像

児童と共に笑顔で行動する教師（合い言葉：すべては子供たちのために）

- 仕事に責任を持ち、チームワークを大切にする教師
- 教師としての資質向上に努め、児童と共感し、やる気を引き出す教師
- 一人一人の実態に応じた個別の支援に努め、誰もがわかり、学力を伸ばす授業を行う教師
- 児童の変化に気づき、寄り添い適切に対応できる教師
- 児童、学校、地域を愛し、誇りをもっている教師

## 6 学校経営方針

- 「すべては、子供たちのために」を合い言葉とし、児童と教職員の信頼関係に立つ学校づくりを進める。
- 教職員一人一人が資質向上に努め、力を発揮できる学校づくりを進める。
- 誰もが楽しく、よくわかり、学力を伸ばす授業が行われる学校づくりを進める。
- 一人一人が「居がい」を味わえる学校づくりを進める。
- 誰もが安全に安心して生活できる学校づくりを進める。
- 児童、教職員が誇りを感じられる学校づくりを進める。
- 保護者や地域から信頼される学校づくりを進める。

## 7 重点的な取組

### (1) 確かな学力と自立する力の育成

#### 重点目標

- 学習意欲を高める授業の創意工夫
- 学習指導の改善と充実
- 家庭との連携による学習習慣の確立

#### 具体目標 全国・県学調

R8 全国・県平均を超える。

#### 主な取組

- a わかりやすい授業の展開
  - 「令和版チチブ・チャレンジ」の活用⇒主体的・対話的で深い学びの実現（1つかむ、2考える・取り組む、3広げる・深める、4確かめる、5振り返る）
  - 児童の特性と多様性実態を踏まえた「UDの視点」からのアプローチ
  - ICTを有効活用した授業実践（タブレットを活用し、個別最適な学びや協働的な学びの実施）
  - 授業への集中力を高める取組（学習規律、返事・言葉遣い、潤いのある学習(教室)環境の整備）
  - 個に応じた学習指導の展開及び支援を要する児童への指導の充実（学習形態の工夫、スマイルネクストAIドリルの活用、宿題等の評価と支援、特別支援学級との連携）
  - ALT・外国語指導兼務教員と連携した外国語科の充実（教材教具の整備、指導法研修）

- b 各種学習状況調査の分析と活用
  - 児童一人一人の伸びの見届けと改善  
(結果の分析→課題の把握→指導方法の工夫・改善→検証)
  - 基礎的・基本的な内容の確実な定着(朝学習の取組)
  - 意味理解を含めた言葉の指導を大切にするとともに、日常的な辞書の活用
  - 効果を上げている実践例の共有と活用
  - 学力向上のための研究の推進
- c 家庭学習・読書活動の習慣化
  - 家庭と連携した家庭学習・読書活動の充実(家庭学習強化週間、親子読書週間)
- d 小・中学校9年間を一貫した教育の推進  
(一中学区学校共通の学習の約束、授業交流、4校合同研修会等)
- e 体験活動を通じた勤労観・職業観の育成、キャリア教育の充実  
(社会科見学、幼保小の連携、総合的な学習の時間)
- f 特別支援教育の推進(インクルーシブの理念に基づいた多様な学びの場の充実(通級指導)、特別支援学校との連携(支援籍学習)と特別支援コーディネーターによる巡回相談の実施)

## (2) 豊かな心と健やかな体の育成

### 重点目標①

- 学級経営の改善と充実
- 積極的な生徒指導の推進
- 心を耕す教育の充実

具体目標		本貸出数
R8	図書室の本貸出数	18,000冊以上
R7	20,132冊	R6 18,697冊 R5 17,220冊
R4	21,643冊	R3 19,419冊 R2 18,879冊

### 主な取組

- a 入学・進級時の人間関係の構築(学級開き、係・当番活動、クラスレク等)
- b 気づきを大切にした教育相談活動の充実(教育相談引継ぎファイルの活用、児童観察、連絡帳、児童アンケート等)
- c 積極的な生徒指導の推進(西小よい子のやくそく、R8西小の重点目標、月の生活目標の徹底)
- d よりよい人間関係、学級づくりの推進(学級活動の充実、コミュニケーション能力の育成)
- e 自尊感情や自己有用感を高める取組の充実(一人一人を大切にした学級活動や学年・学校行事、学習成果の校内掲示等)
- f 夢や志を育む取組の推進(キャリア教育の充実、キャリアパスポートの取組)
- g 特別な教科「道徳」の時間を中心とした豊かな心の育成  
(「彩の国の道徳」の活用、読み聞かせ、校長講話、植物の世話等)
- h 参加体験型プログラムの積極的な活用(ライフスキル教育、ソーシャルスキルトレーニング、グループエンカウンター、人権感覚育成プログラム等)

- i 読書活動の充実（朝読書、読み聞かせ、教育業務支援員の活用、図書館との連携）
- j 児童一人一人に居場所と安らぎのある学校づくりの推進→人権教育の充実  
（教室環境の整備、学年毎の人権教室、人権作文・標語、花いっぱい为学校）
- k 課題がある児童への支援の充実と事案の早期発見・早期対応→いじめ・不登校対策等（生徒指導重点校の取組、生徒指導委員会、教育相談引継ぎファイルの活用、ケース会議の実施、SC、SSW、家庭児童相談員、民生児童委員、医療・福祉等関係機関との連携）

## 重点目標②

- 体力向上と健康教育の推進
- 各種感染症予防の徹底
- 安全指導の徹底
- 自信をもって行動できる児童の育成

## 具体目標 新体力テスト

### R8 ○新体力テスト

・総合評価  $A+B+C \geq 85\%$  （埼玉県5か年計画施策指標より）

R7 77.3%      R6 84.2%

## 主な取組

- a 運動の楽しさを味わわせ、体力を高める体育の授業（運動量の確保、すくすくプログラムの実施、ケイリキタイムの充実、個に応じた支援、体育カードの活用）
- b 新体力テストの結果に基づく体力の向上  
（柔軟性・瞬発力の向上、各学年の課題に沿った指導、休み時間の運動）
- c 各種感染症予防対策と心のケア
  - ①子供たちの心と体の健康管理及び、感染防止に向けた環境衛生の徹底
    - ・各種感染症予防対策の実践  
（教室換気、規則正しい睡眠、手洗い・うがいの徹底、子供たちの健康状況の確認等）
  - ②子供たちの不安や悩み等、心のケアの取組  
（偏見や差別をなくす教育の推進、ケース会議の実施、SC・SSW・医療・福祉との連携）
- d 生涯健康への礎づくり（食育授業、歯科講話、学校保健委員会）
- e 食物アレルギーへの対応（栄養士、担任、保護者、教務部の連携による除去食の対応、食物アレルギー対応委員会、エピペン講習会の実施）
- f 安全指導の徹底（登下校指導、スクールガードとの連携、交通安全教室の実施、計画的な避難訓練、遊具の使い方と遊びの約束）

### (3) 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

#### 重点目標

- 教職員の資質向上と心身の健康
- 子供の安全・安心の確保
- 潤いのある学習環境の整備

#### 具体目標 安心・安全

R8 児童・教職員の事故 0

R7 児童2（交通事故2） 教職員0

#### 主な取組

- a 教員の資質向上と組織体制の充実
  - 目指す学校像を意識した学校運営への参画、校内研修の充実、研究授業・模擬授業、授業観察、構造的板書の工夫、人事評価制度の効果的な運用を通して、以下のような教師を目指す。
    - ・ 児童と共感し、やる気を引き出す教師、誰もがわかる授業を行う教師
    - ・ 児童の心を受け止められる教師
    - ・ 責任感がありチームワークを大切にする教師
- b 居心地がよく落ち着いて学習に取り組める教室環境づくり  
(よりよい環境づくりと心を育てる清掃の実施、児童の成長がわかるユニバーサルデザインの視点に立った掲示物の工夫、花や植物の栽培により自然の大切さを学ぶ)
- c 学校評価の分析結果に基づく指導の工夫・改善  
(自己評価、学校関係者評価、児童・保護者アンケート)
- d 危機管理・事故防止の徹底  
(安全点検、登下校指導、危機管理マニュアルを活用した訓練(不審者対応訓練の実施)、服務規律の確保)
- e 授業実践資料等のライブラリー化
- f 特別な教科「道徳」の充実
- g 家庭・地域との信頼関係の確立  
(教育活動の情報発信、PTA・学校応援団・地域学校協働活動・関係機関との連携)
- h 教職員の心身の健康の保持・増進  
(業務改善と負担軽減の推進、時間外勤務月45時間以内・年間360時間以内の実現、在校時間の適切な削減、ワークライフバランスの確立)
- i 各種研修会等への積極的な参加(他の教職員への情報提供、資料の共有化)

### (4) 地域ぐるみの教育の推進

#### 重点目標

- 家庭・地域の教育への参画意識の向上
- 学校情報の積極的な発信
- 地域に貢献する児童の育成

## 具体目標 連携・交流の充実

### R8 コミュニティ・スクールの推進

異校種との交流

学校応援団活動の充実と地域学校協働活動の推進

#### 主な取組

- a コミュニティ・スクールを核とした地域の中の学校としての取組  
(よりよい学校を目指した学校運営協議会の熟議の充実と関係機関への働きかけ、学校公開、学校応援団との連携、地域学校協働活動の推進、校外地域活動への参画)
- b 学校情報の家庭・地域への積極的な発信  
(学校だより・HPの内容及び更新頻度の向上、緊急時におけるすぐーるでの発信、すぐーる配信による学年だより等各種通知のペーパーレス化)
- c ネットトラブル防止に向けた取組  
(低学年からの系統的な指導、外部機関と連携した親子で学ぶ出前授業の実施、ネットトラブルの情報発信)
- d 異校種との積極的な連携と交流  
(中学校との連携、幼稚園・こども園・保育所との交流)
- e 地域との協働、相互作用により、地域の一員として貢献  
(各教科・総合的な学習の時間における体験活動の充実)
- f 地域貢献活動の推進(ボランティアキッズ、地域行事への参加、ベルマーク収集)
- g 幼保小の滑らかな接続による小1プロブレムの解消  
(幼・保・こども園及び家庭との連携、民生児童委員・関係各機関との情報交換、入学前の情報交換)
- h 家庭の教育力の向上(学級懇談会、PTA講演会、啓発活動)
- i 高齢者との交流(生活科昔遊び)

## <教職員の合言葉>

# すべては、子供たちのために

【参考】本校児童について

1 児童数の推移

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	前年比
R元年度	55 (1)	52 (1)	53 (2)	69 (2)	54	49	332 (6)	-8
R2年度	49	55 (2)	52 (1)	53 (2)	69 (2)	54	32 (7)	±0
R3年度	52	50 (1)	57 (2)	53 (1)	54 (2)	69 (2)	335 (8)	+3
R4年度	54 (1)	52 (1)	50 (2)	57 (3)	53 (2)	55 (2)	321 (11)	-14
R5年度	43 (1)	53 (2)	53 (1)	50 (2)	57 (3)	53 (1)	309 (10)	-12
R6年度	52 (5)	42 (2)	51 (5)	54 (1)	49 (4)	56 (2)	304 (19)	-5
R7年度	52 (2)	53 (6)	45 (3)	52 (7)	54 (2)	52 (4)	308 (24)	+4
R8年度	44 (0)	52 (7)	53 (7)	45 (3)	52 (7)	54 (2)	299 (26)	-9

※ ( ) は特別支援学級の児童数で内数